

分散登校も最終週となり、授業時間も少しずつ長くなってきました。まだ、国語や算数の学習が中心ですが、子供たちはしっかりした姿勢で学習に取り組んでいます。「話し合い活動」が制限されるため、授業は教師中心で進みます。最近はこの教師主導の一斉授業が「旧い形」とされていますが、私の年代だと、教師主導の「チョーク&トーク」（チョークで黒板に書き、質問の受け応えで進める）は得意なやり方です。うまくやれば、基礎的な学習内容は効率的に指導できますが、子供たちの「主体的・対話的な学び」につながりにくい欠点もあります。

しかし、コロナ対策としては「チョーク&トーク」を軸にしながら、子供たちの思考を深める学習を進めることを大切にしていきます。この状況が落ち着いたときに「話し合って」「考えを深め」「自分なりの答え」を見つけられるように…